

食育事業取組報告書(川東小学校)

食育活動区分	(該当するものを口で囲む) 育てる・作る・食べる・返す	実施年月日	2022年 5月～7月
教科名	生活科、国語	指導者	小葉 信子
単元名	育て！わたしたちのやさい(生活科)、かんさつ名人になろう(国語)		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の野菜を育て、野菜の成長に寄り添うことで、自身の成長に気付き、自己有用感を高める。 ・合科的な単元開発を念頭に、活動をダイナミックに構成することで、更に自己有用感を高める。 		
	児童・生徒の活動	支援・指導上の留意点	資料
	<p>○育てる野菜をきめる。 ・種苗店の方にお越しいただき、お買い物体験を行い、実際に育てる苗を自分で購入する。【資料1】</p> <p>○土作りをし、苗を植える。 ・畑の先生に土作りを教わり、苗を植える。【資料2】 ・土作りの様子や願いを絵や作文に表す。</p> <p>○野菜の育て方を調べよう。 ・図書室の本で調べる。 ・家の人へのインタビューやタブレットで調べる。</p> <p>○野菜を育てよう。 ・観察カードを活用する。 ・変化が分かるように、3～4日に一度は調べる。【資料3】</p> <p>○収穫する。 ・どのように料理して食べるか決めて、お家で作った料理を家族で食べ、感想をロイロノートで知らせる。</p> <p>○活動をまとめる。 ・絵や作文でまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏から秋にかけて育て、食べる野菜を想起させる。 ・各自のめあてをもたせる。 ・畑の先生に連絡をとり、植え方、世話の仕方を学ぶ。 ・他の子が調べている野菜について書かれている本等があったら紹介する。 ・調べたことをワークシートにまとめる。 ・観察カードは、子どもの興味・関心が継続するよう工夫する。 ・「かんさつ名人になろう」(国語)と関連付ける。 ・収穫した野菜をどのように食べるか考える。 ・絵で表す。(図工) ・自分の思いや感想を加え、活動のまとめとなるようにする。 	 <p>【資料1】</p>  <p>【資料2】</p>  <p>【資料3】</p>
成果と課題	<p>○夏野菜の栽培を行い、世話と観察に継続して取り組んだ。子どもたちは、収穫した野菜をうれしそうに家庭に持ち帰っていた。また、自分が育てた夏野菜を家庭で食べることでさらに野菜への愛着と食べ物への感謝を感じていた。</p> <p>○合科的な単元開発を行うことで、活動がダイナミックに展開され、子どもたちの感動体験に繋がり、子どもたちの生きる力を効果的に高めたと考える。</p>		
家庭・地域との連携	<p>○家庭・地域に進んで活動を知らせ、野菜作りのインタビュー等、学習支援の視点からも協力を仰ぐことで、子どもたちは意欲的に活動に没頭することができた。</p>		